

施設マネジメントに関する課題と論点(案)

現在の施設マネジメントに関する課題1

課題: 経営者層と施設担当部課による施設の経営判断に要する適切な情報の共有とそれぞれの役割の明確化

理由: 施設担当部課から経営者層に対し、施設の経営判断に要する適切な情報が作成・提供がされていないのではないか、また、それぞれの組織的な役割分担によるマネジメントが円滑に行われていないのではないか。

検討に際しての論点1

・総合的な経営判断

◇経営者層は、大学の理念やビジョン、戦略を基に、施設の整備・管理に関する情報を総合的に勘案して、施設の経営判断を行うことが必要。

■判断を行うにあたり、必要となる情報は何か。また何を策定するのか。(例えば、必要となる情報としては、保有する資産、整備・維持管理費用、投資効果、施設老朽度、スペースの利用状況や需要予測などであり、それらを総合的に勘案し、優先順位、実施時期、実施範囲、必要予算などを記載した施設整備・管理計画を策定する。)

・必要な予算の獲得

◇適切な計画を策定し、必要な予算や理由を学内に説明し、同意を得た上で予算の獲得をすることが重要。

■予算を獲得するためには、どのような方策があるか。(例えば維持管理費用として中長期の修繕経費の算定を行い必要額を複数年度で計画的に獲得することや整備費用として寄付や目的積立金の制度の活用など、多様な財源の活用などが考えられる。)

・学内コンセンサスの獲得

◇施設担当部課は様々な施設情報を収集し、分析や評価を行った上で見せる化を行い、経営者層が必要となる情報を提供することが必要。

■経営者層が適切な経営判断を行うためには、施設担当部課がどのように施設情報を分析、評価し、どのように見せる化していくべきか。

・マネジメントの全学的な実行

◇全学的な施設マネジメントを実行していくためには、施設担当部課が本部事務局、部局、施設利用者等の全学的な理解や協力を得ることが重要。

■全学的な理解や協力を得るためには、どのような働きかけをしていくことが必要か。(例えば、施設担当部課が各部局や施設利用者等の施設に対するニーズを把握し計画へ反映させる。)

現在の施設マネジメントに関する課題2

課題: PDCAサイクルの着実な実行

理由: 施設の情報管理の一元化や施設水準の設定が進んでいないのではないか。また、施設の整備・管理が実行された後の評価や分析が適切に行われず、その後の企画・計画に反映されていないのではないか。

検討に際しての論点2

・施設の情報管理

◇既存施設の現状を把握し、課題を抽出するためには、施設情報の一元的な管理が必要。

■施設の情報管理するためには、効率的で適切な施設情報の収集、課題抽出のための施設情報の整理、データベース化や一元的な管理をどのように実施していくか。

・施設整備・管理の目標

◇国立大学等は、今後の教育研究の動向を踏まえ、経営面から費用対効果などを十分に検討した上で、教育研究活動に対応できるよう施設水準を主体的に設定することが必要

■施設に取り組むべき課題に対し、教育研究活動状況、施設に係る条件及び利用者の要望等を踏まえて明確な目標をどのように設定していくか。

・適切な評価・分析の実施と企画・計画への反映

◇施設マネジメントを PDCA サイクルの中で着実に実施していくことが必要。

■施設マネジメントの PDCA サイクルの各プロセスを適切に実施していくためには、どのような方策が考えられるか。特に分析・評価においては、施設が教育・研究に及ぼす効果に重点を置く必要がある。(例えば、分析・評価方法の考え方や具体的な事例等について、他機関の取組を広く情報収集するとともに、学内で幅広い議論を行うなど。)

・人材の育成

◇継続的な施設マネジメントの取組にあたり、組織的なスキルの維持が重要。

■施設マネジメントを行う人材の育成や取組の普及に対して、どのような方策が考えられるか。